

2011年度テーマ..震災後、魂と風景の再生へ

朝日講座 知の冒険

もつともつと考えたい、世界は謎に満ちている

東日本大震災の被災地で生きる人々、亡くなられた人々、未曾有の災害に対して固唾をのんで見守った人々。このようならずべての人々、あるいはその魂に向け、魂と風景の再生に捧げる「言葉の花束」を共に想像（創造）することをめざす。今年度は、文学と思想、歴史、人間についての知である人文知を一つの核とし、今一つには、人文知とは別個の方法で「永遠」といったものに触れてきた諸科学が、現在もなお進行中の、この壮絶な悲慘さのなかで何を語りうるのか、何を遺しうるのか、教員と参加者が共に考える場としたい。

2011年10月7日～2012年2月3日

金曜5限（午後4時50分～6時30分）

文学部法文1号館2階215番教室

教室定員50名（最大70名）

対象：全学部後期課程

（大学院生も可。振替可能な範囲で単位も可）

科目番号：04116312

ご注意いただきたいこと

本講座は、後日映像として配信される部分を含みますので、肖像権につきましてご理解ください。

また、本講座は一部のみの参加は原則として認められません。

なお、10月7日は授業のガイダンスを兼ねますので履修希望者は必ず参加してください。

詳細・問い合わせ：UT-mate のシラバス、文学部ホームページをご覧ください。

問い合わせは10月7日のガイダンス時に受け付けます。

講師と出講日

10月7日	加藤陽子	東京大学大学院人文社会系研究科教授（日本史）
10月14日	阿部公彦	東京大学大学院人文社会系研究科准教授（英文）
10月21日	鈴木淳	東京大学大学院人文社会系研究科准教授（日本史）
10月28日	一ノ瀬正樹	東京大学大学院人文社会系研究科教授（哲学）
11月4日	マイク・モラスキー	一橋大学大学院社会科学部教授
11月11日	目黒公郎	東京大学生産技術研究所都市基盤安全工学国際研究センターセンター長
11月18日	濱田純一	東京大学総長
11月25日	松本三和夫	東京大学大学院人文社会系研究科教授（社会学）
12月2日	児玉龍彦	東京大学先端科学技術センターシステム生物医学教授
12月9日	浅見泰司	東京大学大学院工学系研究科教授
12月16日	若宮啓文	朝日新聞社主筆
1月13日	神里達博	東京大学大学院工学系研究科原子力国際専攻特任准教授
1月20日	田原	詩人（H氏賞）
1月27日	瀧藤一起	東京大学地震研究所教授
2月3日	佐伯一麦	作家（三島由紀夫賞、野間文芸賞）